



やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2024. 4. 16号

文責 小森



令和6年度 1学期始業式

4月8日(月)、心地よい春風の中、令和6年度1学期の始業式を行い、本田勇人校長先生が「式辞」の中で次のことを述べられました。

～ 始業式 式辞 ～

新2年生のみなさん、新3年生のみなさん進級おめでとうございます。

皆さんの進級を心より祝い申し上げます。

新しい年度、令和6年度がスタートしました。2、3年生のみなさんと、そして、先生方と共に、新しい年度、令和6年度をスタートできることをともに喜びたいと思います。先ほど、各学年の代表の方が、今年度に頑張りたいことをしっかり述べてくれました。必ずや、各学年で立てた目標がしっかりと達成されるものと期待しています。そして、本日は、新しい仲間との出会い、新しい環境の中でのスタートとなりました。どうか、新たな気持ちで、中堅学年、あるいは最上級生としてしっかり頑張ってもらいたいと思います。

一方では、新年度になり、新しい仲間と、新しい環境で過ごすことに不安を感じている人も多いかと思えます。誰にとっても、新しい環境で、新たにスタートすることには、不安を感じ、たくさんのエネルギーを使うものです。不安を感じている人は、そのような不安な思いは誰もが感じているということ、そして、一緒に時を過ごすことで少しずつ軽くなっていくと思えますので、その不安な気持ちを、先生方や家族、友人に打ち明けてどうか心を軽くしてほしいと思います。

さて、新しい年のスタートとなりました。山里中学校は、生徒の皆さん、そして先生方とともに、昨年度よりも、さらに力強く前に、前進していきたいと思っています。そのために、今年度は、これまで以上に、生徒の皆さんの、考えや思いを「学校生活」に生かし、「生徒の皆さん自身の手によって学校を作っていくために」これまでの学校生活の仕組みを大きく進化させたいと考えています。

それは、皆さんの学級の、学級担任の先生を一人に固定せずに、学年所属の先生方全員で、皆さんのお世話をしていくことにするということです。これまでの「一人の学級担任の先生と学級の生徒の皆さんによる学級づくり」から「学級の皆さんと学年の多くの先生方による学級づくり」へ進化させる、「学級担任という制度」から「先生方がチームを組んで担当する制度」へ進化させるということなのです。

目指すところの一つ目は、「生徒の皆さんの手による、学級づくりや学校づくり」です。先生方に、必要以上に頼らず、自分たちで考え、課題を解決しながら、皆さんの手で学級や学校を作っていくということなのです。学年の先生方は、一週間程度を基本としたローテーションを組みながら、お世話役、相談相手として、これまでの学級担任としての役割を果たしていただきます。朝や帰りの短学活、給食の時間、道徳の時間なども学年のすべての学級にローテーションを組んで、回っていただき、学年所属の多くの先生方に、皆さんとの関わりを深めていただきます。

目指すところの二つ目は、「多くの先生方との日常的な活動や触れ合いを通して、生徒の皆さんの一人一人の成長を応援する」ことです。多くの先生方との関わりの中で、いろんなものの見方や考え方に触れることで、皆さん一人一人が、「一人の人間として」大きく成長していこうということなのです。

山里中学校は「学級担任という制度から、チームとしての担任という制度へ」大きく舵を切ろうと思います。この制度で、「生徒の皆さんの手による学校づくり」をすすめ、「皆さん一人一人の「ひと」としての大きな成長を促す」そのことを、目指していきたいと思っています。考えてみると、これまで、皆さんは、体育大会や合唱コンクール、修学旅行やフィールドワーク、平和学習や人権学習、生徒会専門委員会の話し合いやその取組、毎日の係活動や清掃活動等、学級担任の先生方の、支えや指導を受けながらも、しっかり、生徒の皆さん自らが、話し合ったり活動しながら、課題を解決したり、作り上げたりしてきました。そうやって、山里中学校を前に、力強く前に、前進させてきました。このことをもう一段階、前に進めて、これまで以上に、先生方に細かくご指導いただくことなく、皆さん自身が、自主的に、積極的に話し合いを進めて、いろんなことを作り上げていこうとするものです。

心配することはありません。これまで皆さんがやってきたことをもっと発展させ、生徒の皆さんによる学校づくりをなお一層進めていこうとするものです。そして、これからは、どの学級にも、多くの先生方が、これまで以上に関わっていただけるということなのです。安心して、皆さんがやりたいこと、やってみたいことを声に出し、形として実現していったら、山里中学校をこれまで以上に前に、大きく前進させていきましょう。



とはいえ、今年からの初めての取組となり、戸惑いや不安、いろんなトラブルや課題が出てくることもあると思います。しかし、そのようないろいろな困難な状況乗り越えて、「皆さんの手による学校づくり」を通して「一人一人が人としての大きな成長を果たす」ために、私からは、二つの心がけてほしいことをお願いしたいと思います。

まず一つ目は、皆さん一人一人が、学年の多くの仲間としての「存在」を認め、身近にいる仲間を支えるということです。学級の皆さん全員で、いろんなことを成し遂げていくためには、何といても、一人一人の力をまとめ、結集していくことが大切です。そこで、その基本となることは「仲間の存在を認めてあげること」「自分の身近にいる人を支えてあげること」がとても大事なことになります。

二つ目は、物事を決めて進めていくにあたり、学級の全員が「ほど良い」状態、「よい加減」の状態にして、進めていってほしいということです。学級としての意見をまとめていく時に、全員の意見を完全に一致させることには困難な状況があります。そこで、大切なことは、学級のみんなが、おおむね納得できる状況、「ほどよい」「よい加減であること」にしていくことです。

「相手の存在を認め、支えていくこと」「みんなが程よく、良い加減であること」そのことを意識しながら生活して、先生方と一緒に「生徒の皆さんの手による学校づくり」を進め、山里中学校をさらに、前に、前進させていきましょう。

令和6年4月8日 長崎市立山里中学校長 本田 勇人

始業式「学年代表のことば」

2年生代表：片岡恭子さんと3年生代表：福島弘太朗さんが「学年代表のことば」（新年度の抱負）を述べてくれました。

2年生代表：片岡恭子さん

- ・一つ一つの行事を全力で取り組み、笑顔で楽しみたい。
- ・いろんな行事を楽しむためにも、学校生活を頑張る。
- ・中堅学年としての自覚をもち、後輩のお手本になる行動を心掛ける。

3年生代表：福島弘太朗さん

- ・学習面。友達同士で声を掛け合い、みんなで勉強を頑張る雰囲気をつくりたい。生活面。最上級生である僕たち3年生から学年を超えて仲良くできるように行動したい。
- ・義務教育を終える最後の一年で、ほんの少しの気遣いと許す気持ちをもって、みんなで笑顔で卒業したい。
- ・3年生として「正しい行動」がとれるよう、諦めずに挑戦し続け、自分たちで未来を切り拓いてく。



着任式



この度の人事異動で11名の先生方が着任され、この4月から本校職員として勤務されています。始業式の前に「着任式」が行われ、一人ずつ、挨拶をいただきました。これから学年、学級、部活動、行事など、たくさんお世話になる先生方です。どうぞ、よろしくお願い致します。

【着任された先生方】

- ・川口 直樹 教頭（技術科 茂木中学校より）
- ・毛利 淳也 主幹教諭（保健体育科 長与中学校より）
- ・水田 雅子 教諭（社会科 琴海中学校より）
- ・岩永 寛大 教諭（数学科 鷹島中学校より）
- ・安部恵美子 教諭（理科 岩屋中学校より）
- ・木下 滉介 教諭（音楽科 新規採用）
- ・松尾 裕子 教諭（保健体育科 西泊中学校より）
- ・溝道 惇矢 教諭（保健体育科 新規採用）
- ・山岡 裕子 教諭（保健体育科 西浦上中学校より）
- ・島崎ゆかり 養護教諭（高田中学校より）
- ・長里 勇三 事務主幹（香焼中学校より）

歓迎のことば 3年 徳永和奈さん

